

浅野氏広島城入城 400 年・福山城築城 400 年記念事業の
実績報告について〔令和 2 年 4 月 17 日〕
文化芸術課

1 要 旨

浅野氏広島城入城 400 年、水野氏福山藩入封^{にゅうほう} 400 年の節目を迎えた令和元年を、近代以前の広島^にの歴史・文化を県民等に再発見していただく絶好の機会と捉え、広島・福山それぞれで官民の「推進組織」を立ち上げ、県内各地で様々な団体が企画・実施する記念事業を通じて、本県の歴史・文化の発信に取り組んだところであり、その取組実績について報告する。

2 記念事業の概要

区分	浅野氏広島城入城 400 年記念事業	福山城築城 400 年記念事業
事業期間	平成 31 年 3 月～令和 2 年 3 月 (プレバント：平成 30 年 6 月～平成 31 年 3 月)	平成 29 年度～令和 4 年度 〔令和元年度：初代藩主水野勝成入封 400 年〕 〔令和 4 年度：福山城築城 400 年〕
推進組織	浅野氏広島城入城 400 年記念事業推進会議 (県や広島市、経済団体等の計 10 団体が参画)	福山城築城 400 年記念事業実行委員会 (福山市や県、経済団体等の計 38 団体等が参画)
概要	令和元年に浅野氏広島城入城 400 年を迎えることを契機とし、江戸時代の広島の歴史・文化の再発見につながる事業を、推進組織の構成団体や、事業趣旨に賛同した民間団体、自治体等計 42 団体が実施	令和 4 年の福山城築城 400 年に向け、平成 29 年度から、福山城の整備など次代につなげる事業等を実施しており、令和元年度は、初代藩主 水野勝成の入封 400 年を記念し、福山藩の歴史・文化の発信事業を実施
実施事業	111 事業 (平成 30 年度(プレバント期間)・令和元年度) 【実施事業例】 ・浅野氏広島城入城 400 年記念 時代行列・入城行列 (主催：推進会議) ・浅野氏広島城入城 400 年記念式典 (主催：推進会議) ・県立美術館特別展「広島浅野家の至宝～よみがえる大名文化～」(主催：県) ・江戸時代の広島県歴史パネル展 (主催：県)	51 事業 (令和元年度) 【実施事業例】 ・初代藩主水野勝成入封 400 年記念 備後入封 400 年祭 (主催：実行委員会) ・特別展「国宝久能山東照宮一徳川家康と歴代将軍ゆかりの名宝」(主催：福山城博物館外) ・県立歴史博物館企画展「戦国の争乱から太平の世へ―戦国時代から江戸時代初期の芸術―」(主催：県教育委員会)

※ 各記念事業の詳細は別紙報告書のとおり

3 県の取組

「浅野氏広島城入城 400 年記念事業」及び「福山城築城 400 年記念事業」の両記念事業の認知度を高め事業参加を促進することで、県民等が本県の歴史・文化を再発見していただけるよう、推進組織を通じて、次の取組を進めた。

(1) 共通的な広報の展開

様々な記念事業を共通ロゴマークなどで統一感を持たせるとともに、広島・福山の両記念事業間で共同広報を行うなど、メディアでの露出拡大に努めた。

【参考】新聞記事への掲載：約 210 件，テレビでのニュース放映：約 30 件

(2) 複数の記念事業間の周遊促進

複数の事業間に関連性やストーリー性を持たせるとともに、県内を広域的に巡るスタンプラリーなどを実施した。

【参考】スタンプラリーを県内 21 施設（西部 10 施設，北部 1 施設，東部 10 施設）で展開し，726 人が応募（応募者においては平均 6 施設へ訪問あり）

(3) 歴史発信事業の継続的開催促進

近代以前の本県の文化・歴史の再発見に継続性を持たせるため，新たに実施された歴史発信事業の主催者に対して，令和 2 年度以降も継続して実施されるように働きかけた。

4 成 果

- メディアでの露出が拡大し，記念事業への認知度が高まったことにより，「浅野氏広島城入城 400 年記念事業」及び「福山城築城 400 年記念事業」の計 162 事業に 1,129,865 人ももの県民等が参加し，多くの会場にて江戸時代の広島の歴史・文化に触れていただけた。
- 新たに実施された歴史講座などの歴史発信事業（約 60 事業）のうち約 40 事業が，令和 2 年度以降も継続実施される見込みとなった。

なお，県民を対象にしたインターネット調査を事業前後に実施した結果，事業実施以後において，江戸時代の広島の歴史について「よく知っている」と回答した者の割合は 10.4%から 22.8%へ増加するなど，県民における広島の江戸時代の歴史の認知度に一定の高まりが見受けられた。

5 今後の取組について

こうした歴史発信の取組を一過性のものとした場合，認知度は再び低下の一途をたどるおそれがあるため，県民等が引き続き広島の歴史・文化に触れる機会を確保できるよう，次の取組を進めていく。

- 令和 2 年度以降も継続実施される歴史発信事業に対し，県の媒体を活用した広報等の支援を行っていく。
- 令和元年度の記念事業の実施により得られた広島の歴史・文化に関する情報について，県立美術館において常設展示するなど分かりやすく発信していく。
- 令和 4 年の福山城築城 400 年に向け，引き続き県も参画・支援することで，福山藩の歴史・文化の発信にも継続して取り組む。